

食品表示検定 上級試験 問題形式例

※ 下記は過去の試験問題例ではありません。

2019年8月

一般社団法人食品表示検定協会

問1 問題例 基礎知識を有する(マークシート)

【問題例 1】「生鮮食品の表示」に関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選びなさい。

- ① 容器包装に名称と原産地を表示する場合、原則として日本産業規格(旧名称:日本工業規格) Z8305-1962に規定する8ポイント以上の大ききで統一のとれた活字で表示する。
- ② 原産地や、水産物の解凍した旨、養殖である旨の表示は、容器包装に入れられた生鮮食品の場合であっても、製品に近接した場所に掲示することができる。
- ③ 特定商品の販売に係る計量に関する政令第5条に規定する特定商品であって密封されたものは、内容量、表記する者の氏名又は名称及び住所の表示が必要であり、生鮮食品であっても表示は容器包装に行う。
- ④ 農業協同組合の略称である「JA〇〇」という表示は、〇〇に該当する部分が原産地として消費者に一般的に知られている地名と認識されるため、原産地表示がなされているとみなされる。

【問題例 2】「アレルギー表示」に関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選びなさい。

- ① アレルギー表示の文字の大ききを他の表示よりも大きくしたり、文字の色を他の表示と変えることは、優良誤認を招く恐れがあるため認められていない。
- ② 特定原材料を含む培地で生産した酵素を、培地ごと混入する場合は、アレルギー表示が必要である。
- ③ 特定原材料名又は代替表記を含んでいるため、これらを用いた食品であると理解できる表記を「拡大表記」といい、「厚焼き玉子」、「ハムエッグ」は卵の拡大表記である。
- ④ 加工助剤やキャリーオーバーのように、添加物を含む旨の表示が免除されているものであっても、特定原材料に由来する添加物に含まれるアレルゲンは、表示が必要である。

【問題例 3】「加工食品の表示」に関する次の①～④の記述の中で、その内容が最も不適切なものを1つ選びなさい。

- ① 特定商品以外の製品は、内容重量、内容体積又は内容数量を表示することとし、内容重量はグラム又はキログラムの単位で、内容体積はミリリットル又はリットルの単位で、内容数量は個数等の単位で、単位を明記して表示する。
- ② 一般的名称を商品名として使用している場合、または商品名に近接した箇所に一般的名称を明瞭に表示する場合には、一括表示部分における名称の表示を省略することができる。
- ③ 栄養成分表示において、熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量について、含有量が0gである場合はその項目の表示を省略できる。
- ④ 内容重量で管理すると個数が一定にならない製品について、内容量に「100g(○～○個入り)」と重量に個数を併記する場合には、内容個数に幅を持たせた表示ができる。

《問1 問題例 解答と解説》……………

【問題例1】解答：④

解説：JA名に含まれる名称が原産地と異なる場合や、そもそも一般に知られている地名ではないものもあるため、JA名とは別に「○○産」などと原産地を表示する必要がある。（「食品表示基準 Q&Aについて」(消食表第140号) 第3章生鮮食品 生鮮-3)

【問題例2】解答：①

解説：アレルギー疾患を有する方にとって分かりやすい表示となるよう、優良誤認表示に当たらないよう配慮しつつ、アレルギー表示の文字の色や大きさを変えることが認められている。（「食品表示基準 Q&A について」(消食表第140号) 別添アレルギーを含む食品に関する表示 E-24)

【問題例3】解答：③

解説：栄養成分表示において、熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量は、含有量が0gである場合でも表示の省略はできない。ただし、「たんぱく質と脂質が0g」のように一括して表示することはできる。（食品表示基準 別記様式2及び3の備考欄参照）

問3 問題形式例 表示をチェックできる(記述式)**問3 (各4点×5)**

『前提条件』に従い作成した表示<3-1>及び<3-2>に間違いがある。

このうち、5つの間違いを、「間違った表示箇所(ア～サの中から選択)」、「間違った表示内容」及び「正しい表示」を解答欄に記入しなさい。

※前提条件、配合に関する情報等は、検定試験用に作成した架空の数値である。

[注意事項]

- ・食品表示基準に基づいて表示を行うこと。
- ・設問の対象となる表示について解答すること。
- ・公正競争規約に及び自治体条例に基づく表示については考慮する必要はない。
- ・1つの解答欄には、間違いを1つのみ記述すること。
- ・「間違った表示」について、5つを超えて記述しないこと。
- ・記入方法は、下記の[解答欄記入例]を参考にすること。

[解答欄記入例]

問題番号 ^{*1}	間違った表示箇所 ^{*2}	間違った表示内容 ^{*3}	正しい表示 ^{*4}
3-1	イ	スキムミルク	脱脂粉乳
3-1	イ	酒精／調味料(アミノ酸)	／調味料(アミノ酸)、酒精
3-2	なし	保存方法の記載なし	(賞味期限欄の下に欄を追加) 保存方法:直射日光を避け、常温で保存してください。

*1 「3-1」又は「3-2」を記入すること。

*2 間違いのある項目の横に記載されているカタカナを記入すること。

必要な表示が記載されておらず、該当する項目がない場合「なし」と記入すること。

*3 間違った表示(部分)を書き写すこと。必要な表示が記載されていない場合は、何が不足しているか具体的に「〇〇の記載なし」等と記入すること。(単に「なし」と記入したもの、空欄のままになっているものなどは採点の対象とならない。)

*4 「正しい表示」が複数ある場合は、いずれか1つのみ記述すること。

問3-1

『前提条件』

(1) 製造について

- ① この食品は、無脂乳固形分 9.0%、乳脂肪分 4.0%である。
- ② いちご果肉を混ぜ合わせたストロベリーアイスである。
- ③ ……………。
- ④ ……………。
- ⑤ ……………。

(2) 表示作成について

- ① 「あまおう」の果肉を使用している旨を商品名の近接した箇所に表示する。
- ② ……………。
- ③ ……………。

(3) 配合に関する情報

原材料名		配合量 (%)	原産地	アレルギー情報	遺伝子組換え情報	添加物の使用目的
生乳		60.0	北海道	乳		
クリーム(乳製品)		11.0	北海道	乳		
水あめ	コーンスターチ	7.3	アメリカ		トウモロコシ・不分別	
	馬鈴薯でん粉		日本		馬鈴薯・組換えでない	
いちご果肉(あまおう)		12.0	福岡県			
砂糖		4.5	北海道		てん菜・組換えでない	
イチゴ香料(イチゴ抽出物)		0.1	日本			香料
合計		100				

＜3－1＞設問の対象となる表示

表示箇所

(ア) ⇒ 商品名:ストロベリーアイス(「あまおう」果肉入り)

(イ) ⇒	種類別	アイスクリーム
(ウ) ⇒	無脂乳固形分	9.0 %
(エ) ⇒	原材料名	生乳、いちご果肉、クリーム(乳製品)、水あめ、砂糖、脱脂粉乳/安定剤(増粘多糖類)、乳化剤、天然香料
(オ) ⇒	内容量	120ml
(カ) ⇒	製造者	〇〇乳業株式会社 札幌工場 北海道札幌市〇〇区〇〇 * - *

問3－2

『前提条件』

(1) 製造について

- ① この食品は、……………。
- ② ……………。

(2) 配合に関する情報

原材料名	配合量 (%)	原産地	アレルギー 情報	遺伝子組換え 情報	添加物の 使用目的
……	…	…	…	…	…

＜3－2＞設問の対象となる表示

表示箇所

(キ) ⇒	…	……
(ク) ⇒	…	……
(ケ) ⇒	…	……
(コ) ⇒	…	……
(サ) ⇒	…	……

問4 問題形式例 表示を作成できる(記述式)

問4(各15点×2)

下記の設問について、前提条件を満たした表示を解答欄の点線枠内に記入しなさい。

※前提条件、配合や栄養成分に関する情報等は、検定試験用に作成した架空の数値である。

※訂正する場合は取り消し線や吹き出し等の校正記号は使わず、消しゴム等で消して書き直すこと。

問4-1

次の焼菓子の配合に関する情報等を基に前提条件を満たした表示を作成しなさい。

この問題で作成する表示の範囲は、「義務表示事項(別記様式等)」及び「栄養成分に関する義務表示事項」とする。

『前提条件』

(1) 製造について

- ① この食品は、焼菓子である。
- ② 株式会社〇〇製菓 茨城工場で製造・包装する食品である。
・株式会社〇〇製菓 茨城工場の住所は、茨城県〇〇市〇〇町1-1-1である。
- ③ 1個は50gで、個包装したうえで、6個を1つの外袋に包装する。
- ④ 原材料の小麦粉はカナダ産の小麦を使用し、国内で製粉している。
- ⑤ ……

(2) 期限表示について

- ① 期限表示は、製造日を含めて製造日から120日間の設定である。
- ② ……。

(3) 栄養成分表示について

- ① 栄養成分表示は、1個当たりの栄養成分を表示する。
- ② エネルギー換算係数は、次の係数を使用する。(単位:kcal/g)
たん白質: 4 脂質: 9 炭水化物: 4
- ③ ……。

(4) 表示作成の条件

- ① この商品は、販売者が責任を持って表示を行う。
販売者:株式会社〇〇食品(東京都〇〇市〇〇町2-2-2)
- ② ……。
- ③ ……。

